特
196
国
2-
134

40. 8. 26
ア306531

烏有散人著

清盛一代記

歌川國芳画

鶴喜梓

清盛一代記 敘

祇園精舎の鐘の聲諸行無常の響あり沙羅雙樹の花の色盛者必衰の理を弱ぶ人の貧福夭壽命あり命の厚薄多寡天より天より従ふるものの栄そむくものの拙道理の自然なり平家の棟梁従一位太政大臣清盛入道浄海天よりさづかる命にやもんぜん一門繁栄仁安より壽永の間二十年ゐぐきを似て短く邯鄲の枕粟飯を炊くるに夢五十年の盛衰短を似て長く孰か其長短を知道理の自然を扣ん今太政入道の一期不測の存亡をつぐて児女子に天をむくい栄ぐ亡をたづ

烏有散人述

今ようの五十ぢれ今ぢんむ天ぢうの
ゆまぢたうもあつぢうぢぢぢちぢめて
平のせのをぬつう王氏をいでぢんすう
つぢりそのふちんとめふのしゅうぢん
さぢりう次男とれひらうり
六代めをびせんのぢぢたぢめと
ゆうぢれ七十五代
ぢ名とちんの
ちんとぢぢぢきう
ぢぢのめんの
ちつつのよ
までへ
のびりーん
ぢいきうの
とろ七十二代の
ぢかど白
ぢのちん
ぢうぢぢれ
しゅのぢ中
ぢぢぢぢの
つんすぢぢのぢちぢ日ぢう
まいぢれちびぢゆぢめ

ある夜ちん
ぢまうぢう
ゆとちびせ
ゆふとちの
さうき九日
あまううき
ぢーしある
ぢぢぢれ
あゆをぢき
ぢうふー
女中の
いぢちゐ
みぢう
あうー
ゆうよう
あゆーの
ひううあ
いでまる
かーらい
ちうぢの
ぢうの
ぢく
さてゆき

つぎこれでさうさのつんげよくきこえるあんもふるひ
こまるきあをれあふ
▲そのころ
ながりつらまぐ
わくめんふまぐ
ぐふよまりーを
きるとものるこもせをとあんを
きるとうーとまりて
きろひたぬきの
きりぶゆもわるんを
そのものをもちひぎいけぐりゆ
せんとちらふるふさろとひるとと
おりぐ又ゆとるくきえーと

これぐまろひるとゆぐてもづとこを
ろるふとい
いるふと
つぎ

☒おなじ年の春仁平三年ごろのうせものの一うんきよりわとさつぎ

元年

うだいじん

さだいじん

ないだいじん

さんぎ

ゆきのすけ

ちゅうなごん

ちゅうじょう

ちゅうべん

ちゅうなごん

ちゅうじょう

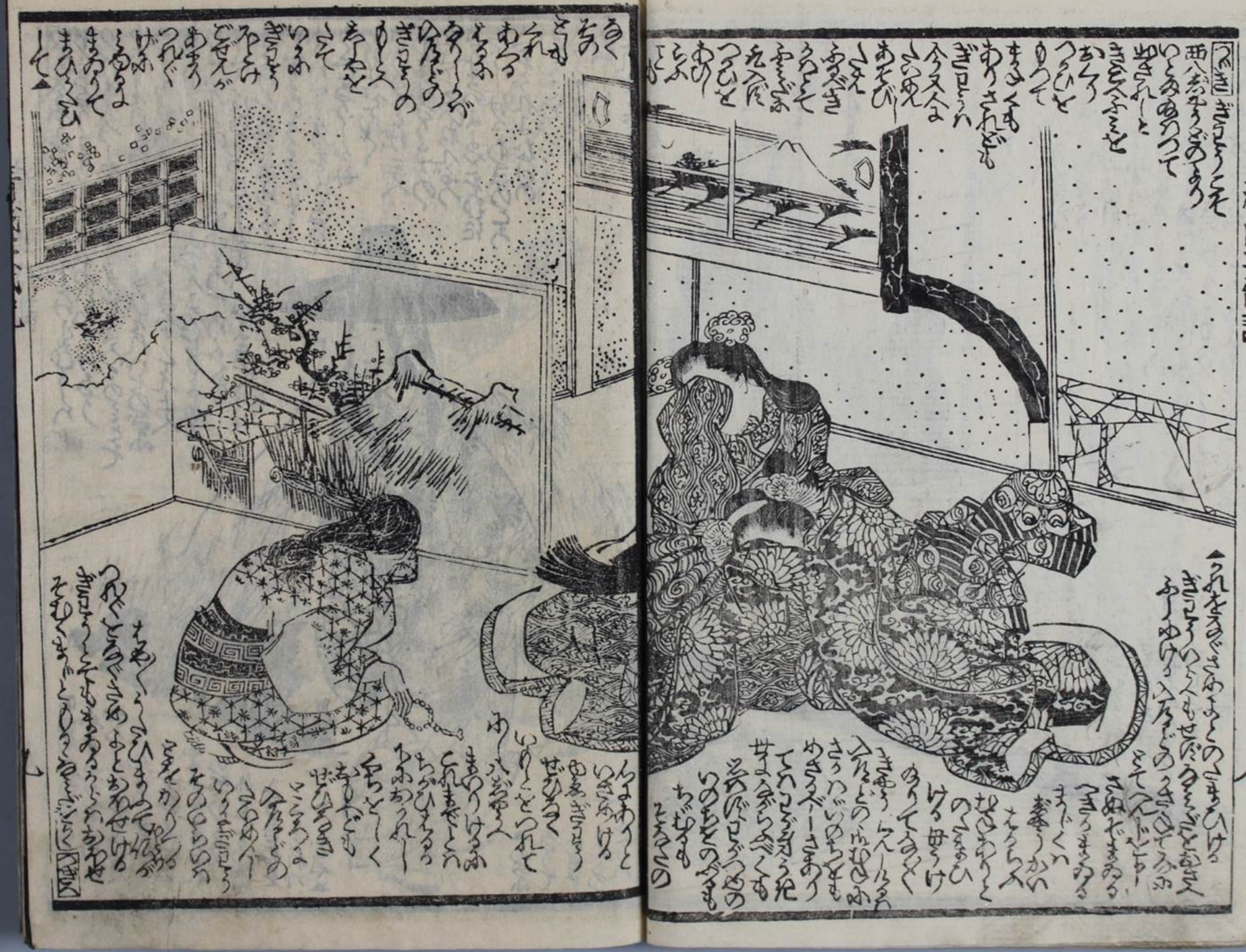
ちゅうべん

▲きさき一ゐのぎよをいとうるきすくつぶりくそよまへのよふきをのくうふうことをもわれらをうつ

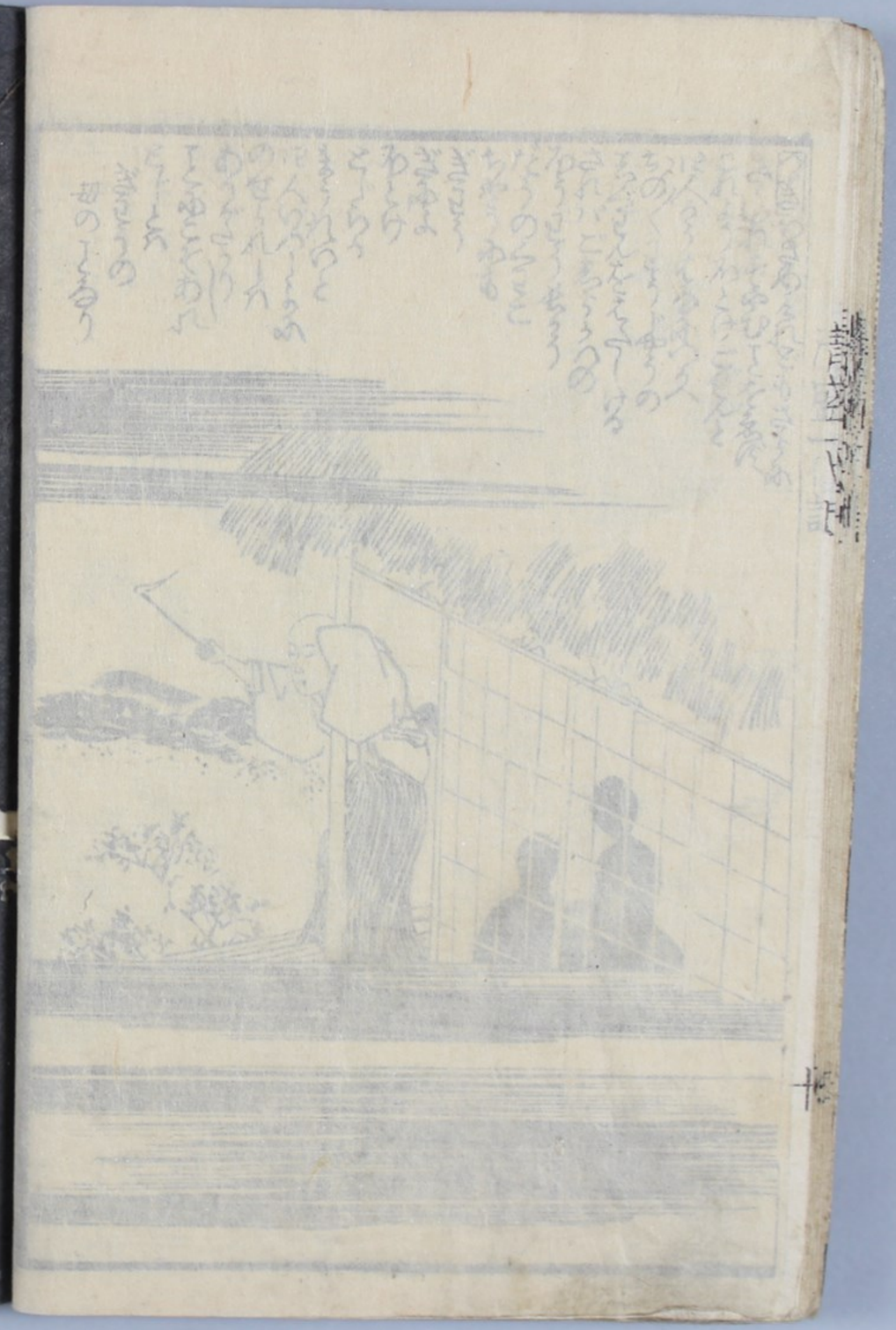
▲ゆ一ゐのぎよをいとうるきすくつぶりくそよまへのよふきをのくうふうことをもわれらをうつ

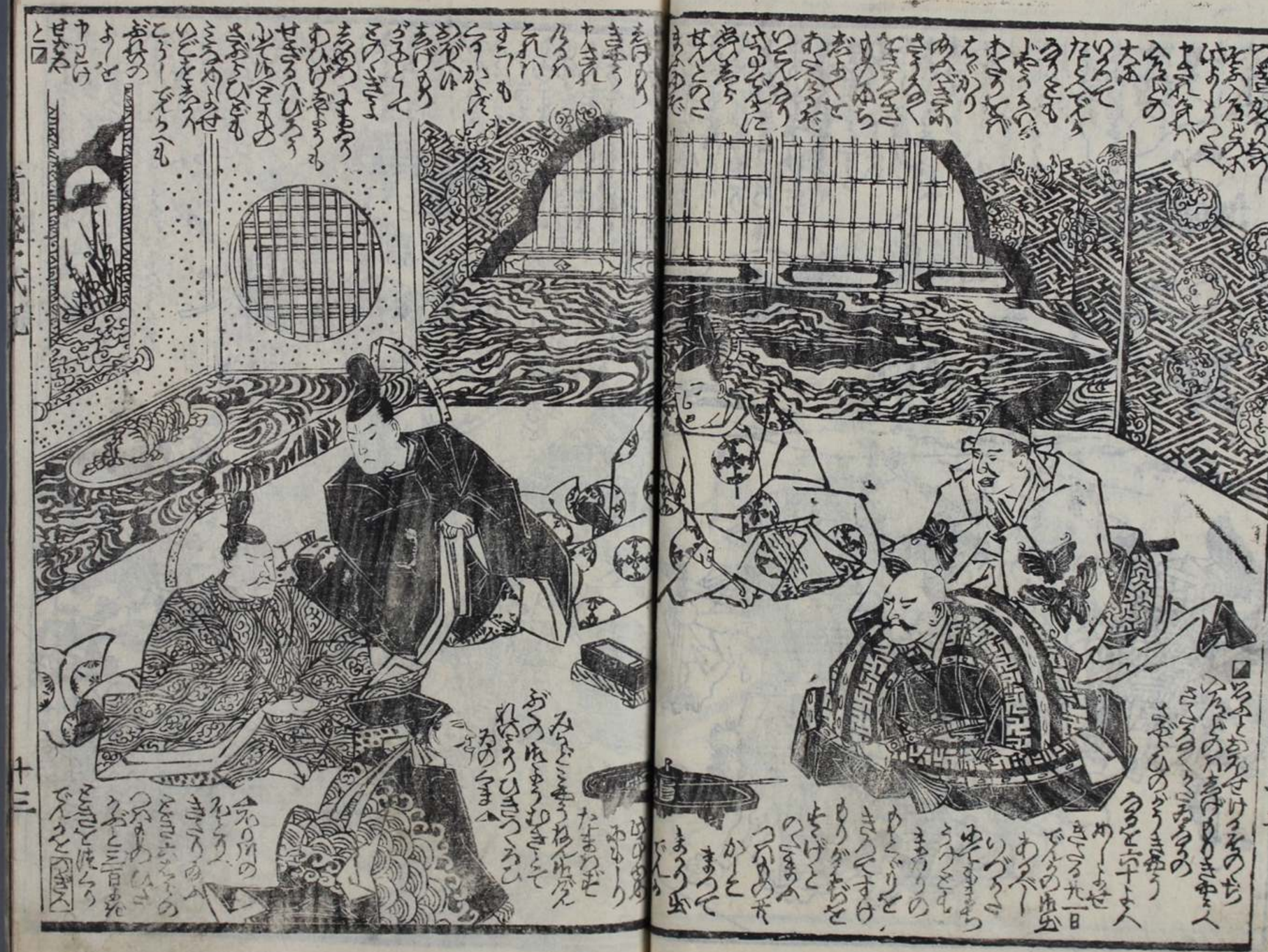
▲ゆ一ゐのぎよをいとうるきすくつぶりくそよまへのよふきをのくうふうことをもわれらをうつ

やうやうとものもいひ
ぶりとうがめらん

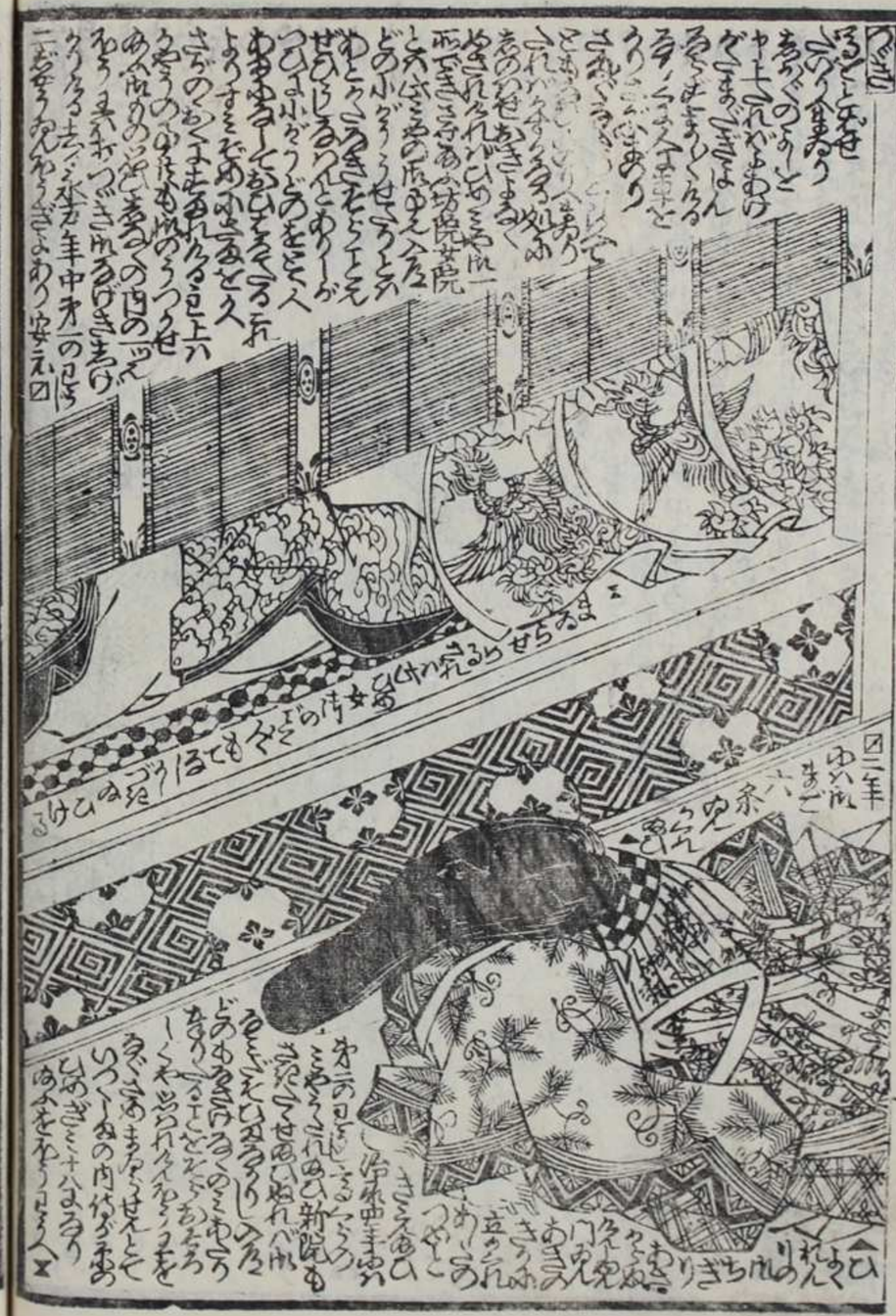


ごとにいきあらそれどもさうめ
きてしれまやもむこをあ
これようわこけごぜんと
はんくうとるめつく
ちのくるうじめうの
ちゝごぜんをとてけ
されごぜうこうのの
ゆうこうもうこ
だうのらこと
ちゆうゆも
ぎここう
ぎゆよ
わこけ
こごらう
まうれうと
はんらこうめ
のせられん
あうぐこう
こゆこそあれ
こごこう
母のこうの





烏有散人著
歌川國芳画
下



かどでー四五七
ゆえてゐるとふらいよ
あひろぐ〳〵ちまち
あくまのこよまち
かりいのちをとて
あちぜんのくふひとち
ちろまさかのくよ
とるこ山ろろろ
どこひのそろ
かつせん平けの
うつてこれりと
ちびめえの
ぐーくのとう
づくうぐひ
ゆりうち者よ
をゆりう平けの
ぐせれ木と
ぶのくそうど
ゆてこそころ〳〵
せぐれ木をどの
こをこよくきこえ
平家ゆれんく天
ほう二ぶものぎんと

とうきうこうこを
ひとき西ろくまち
ぶうろををぐこの
三郎こさとこと
ちのふたぐよひけ
ぶうこうけとき
ひとろふえの山ようた
きをどのこをふて
ぶうこうのゆをを
くまあろぐんよ
ぶう平めくぎうの
ぶうこをとめ
ぶうこうくも
ひとものこども
ぶうろう〳〵
ふうこのの
ゆんくこんの
ようこうの
のぶりて
あふこの
あるこぶ
ゆそ

つゞき　さるほどのもとうちつゞきが
ひきうけておもうさまのかたきを
けのごとし ころを平けついにきのくるに
元りやく元年二月廿一日
一のたにへせめよせ
すまのうら源氏まちかき
わうけうらゞちからず
まげひらいてけづり
ところ文治
元年二月
さぬきの
やしま
かつせん
平家かたの
らく〳〵
三月
ながとの
だんのうら
かつせん
平家たうぞく
二ゐのあまときよ
きよもりのきさき
まんごうあんとく天皇と

△らつきうみは入女かんむりの身のあり
きよもりときさきつゞけられ
平家の一もん
のこらずそうとう
あつびそてたれば
源氏一とうの
世とあり
けるぞ
めでたく
けれ

烏有散人著

歌川國芳画

信州東山堂看板略圖

御免

[illegible]積湯ハ[illegible]より[illegible]
御上[illegible]様ニ御薬調進御用奉[illegible]
[illegible]其後[illegible]切御[illegible]制禁
[illegible]御国[illegible]積湯動
[illegible]御[illegible]御[illegible]
[illegible]動[illegible]御[illegible]
[illegible]男女[illegible]町
[illegible]国中[illegible]御城下
[illegible]の町人[illegible]合[illegible]
[illegible]動[illegible]

男女不限

△せんきやく△つかえ△たん△あうみん△せんき
△あんぜう△せうかち△ぢ△さんぞく△せん癪
きんせんさんご血のみち一切の[illegible]別て効あり又金に
たいの婦人平生まで武[illegible]
あきてめづらしきおぐすり[illegible]
うまれんとおの三ン日より毎日一[illegible]
[illegible]下[illegible]
すみせんき一通りの[illegible]
そくぶ[illegible]
ぞんの表にせんきの薬とあらばよこ[illegible]

御国王様方売薬御制禁の御法
柄に御免売込の名前をおろし於
なんぞ出しハ我蔵薬肖と金の宜真加ゆ
極々おけ雑なる仕合は指れ仍之益々
薬種細絵の上ニも浄を極め精ぐ
調合を致し無匆弁も御流及我も
同じ容易ならざる神薬なり

▲近年包紙形式ハ絵出の文面を迄紀
こう又かんばんの字を写とり紛らハしき
代ものも又ハ売出して居ますと
まげて其の名やうにちよいとえるとうまが
薬ハ無き遠仕立し効なく其名国
に数多えそうり能書ハ見ず薬と
せるなどのきそやう入れば効能ハ却て
見ず薬ハまきまどり効ふらつれの薬と
ろんずることう早く見て御服あき
まかるこそ叔にあるり

御勤御府ハ流業より御済ご様方
御用御もて好御事ある様なお願上升れ

御免本家 信州 東山堂謹製

本店 信州上田海野町二丁目 松原傳八郎

同店 信州松本通本町二丁目 松屋傳七郎

御用薬所 同店 江戸本郷三丁目 松屋彌八郎

大坂同 出張 堺筋博労町 東山堂店

諸國 同 店 江戸馬喰町二丁目 西村屋與八郎

取引 同 店 京都新町錦上ル 和久屋茂三郎

奥州御免元弘店	仙臺国分町	菅野屋喜兵衛
秋田御免同店	土崎湊酒田町	茜屋東兵衛
雲州御免同店	松江白潟天神町	新屋市郎兵衛
加州御免同店	金沢上堤町	白銀屋弥三次
奥州元弘店	松前仲町	松本金蔵
長州同店	下関西南部町	紙屋嘉左衛門
土州同店	高知蓮池町	大津屋庄助
飛州同店	高山三番町	長瀬屋與四郎
佐州同店	相川四町目	角庄五郎
越州同店	府中本町	三田村甚三郎

賣弘所 江戸親父橋 山本平吉

国文
24L
43

賣弘所　浩親父橋山本平吉

文
図書
年度